

RakuRakuWin
テーブルリンク印刷

取扱説明書

ダイオーポスタルケミカル株式会社

2017年10月4日

■ ご注意

本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

本商品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

Microsoft, Windows は米国 **Microsoft Corporation** の米国、およびその他の国における登録商標です。

QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

その他、本書中に使用している会社名および商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

<目次>

1 システムの概要.....	1
2 使用機器.....	3
3 インストール方法.....	4
3-1 本システムのインストール.....	4
4 アプリケーション仕様.....	5
4-1 メイン画面.....	5
4-2 テーブルの行検索.....	6
4-3 検索画面.....	6
4-4 レコード内容表示.....	7
4-5 レイアウトフィールドへの直接入力.....	8
4-6 印刷.....	9
4-7 オプション画面.....	10
4-7-1 基本タブ.....	10
4-7-2 マスタ定義タブ.....	11
4-7-3 カスタムタブ.....	12
4-7-4 画面タブ.....	13
4-7-5 コードリーダータブ.....	14
5 ファイル仕様.....	15
5-1 ファイル一覧.....	15

1 システムの概要

本システムでは RakuRakuWin2 で作成したレイアウトに MS-Access で保持しているテーブルやクエリの内容を差し込み印刷することができます。対象となるテーブルやクエリには行を特定するためのキー項目をひとつ設定し、印刷時にはこのキーを入力することにより指定行の内容を印刷します。

本システムの特徴は次の通りです。

- ◆ テーブル列と印刷レイアウトのフィールドの組み合わせが自由
テーブル列の差し込み先レイアウトのフィールドはお客様が自由に設定することができます。データの取得先としてクエリも利用することができます。複数の表を連結する必要がある場合はクエリを利用し、ひとつの表として扱えるようにします。
- ◆ テーブルのレコードごとに印刷レイアウトが指定可能
テーブルの列にはレイアウト名を含めることができます。例えば製品ごとに異なるレイアウトを指定することができます。この場合レイアウトのパス（ドライブ・ディレクトリ）と拡張子は除いた内容としてください。パスと拡張子はプログラムで自動付加します。
印刷レイアウトが一種類の場合は、レコードで指定する必要はありません。
- ◆ プレビュー機能
テーブルのレコード内容が差し込まれた印刷イメージが表示されます。
- ◆ 「ロット番号」入力機能
印刷時にロット番号を入力することができます。
ロット番号は使用有無を設定可能です。
- ◆ 「数量」入力機能
印刷時に数量を入力することができます。
数量にはカンマ編集（3桁ごとにカンマを挿入する）の有無を設定可能です。

例) 画面入力の内容 : 「1234567」

カンマ編集あり印刷内容 : 「1,234,567」

◆ 「製造年月日」入力機能

当日の日付が初期表示され必要に応じ変更することができます。

製造年月日の入力項目は表示有無の設定が可能です。

RakuRakuWin の差し込みフィールドの内容の種別を日付にすることで、さまざまな形式で表現することができます。

例) 画面入力の内容 : 「2007/05/30」

実際の印刷内容 : 「2007年5月30日」や「20070530」など

◆ 「有効期限」自動計算機能

製造年月日と有効期間(月数)から有効期限を自動計算します。計算結果をユーザが修正することもできます。

有効期間はシステムで共通の値を持つこともテーブルのレコードごとに異なる値を持つこともできます。

(有効期限の計算は月単位となります。日単位での計算はできません。)

◆ コピー数とシリアル数の入力

印刷枚数にはコピー数とシリアル数のどちらでも指定できます。

同じ内容を印刷するにはコピー数を、連番を含むレイアウトにはシリアル数を指定します。

それぞれの入力項目は表示有無の設定が可能です。

◆ 直接入力機能

差し込み設定されたフィールドは、印刷プレビュー上でダブルクリックすることにより内容を直接編集することができます。

◆ 検索機能

レコード選択時にキー項目として設定された列の内容に入力した文が含まれるもので絞り込んだ一覧から選択することができます。

◆ レコード表示機能

呼び出されたレコードの内容を一覧表示することができます。また、元のレコードの内容を編集することもできます。

◆ コードリーダー接続

シリアルインターフェースのコードリーダーよりキー項目の入力を行うことができます。

2 使用機器

本システムで使用する機器およびソフトウェアは次表の通りです。

なお、プリンタについては RakuRakuWin で印刷可能なものをご使用いただけます。

表 1 使用機器

No.	項目名	内 容	備 考
1	コンピュータ本体	IBM PC-AT 互換機	CPU やメモリなど主要スペックは OS の推奨する条件を満たすもの
2	OS	Microsoft Windows 7・8・8.1・10	
3	データベース	Microsoft Access 2003・2007・2010	
4	アプリケーション	RakuRakuWin2	
5	コードリーダー	シリアルインターフェースのもの。 USB を使用する仮想シリアルポートの機種にも対応可能。	キー項目への入力に使用する場合。
6	プリンタ	Windows 対応のもの	

3 インストール方法

システムを使用するためには、本システムの他にいくつかのソフトウェアをインストールする必要があります。使用するパソコンに次のソフトウェアがインストールされていない場合はインストールしてください。インストール方法については各製品に付属の取扱説明書などをご覧ください。

- ・ Microsoft Accessデータベースソフト
- ・ RakuRakuWin2印刷レイアウト編集用ソフト
- ・ プリンタドライバプリンタ制御用（プリンタ付属のものをご使用下さい。）

3-1 本システムのインストール

本システムのCD-ROMより次のフォルダをパソコンのハードディスクの任意の場所にコピーしてください。

¥ R r a P r n

必要に応じ、プログラムへのショートカットをデスクトップに作成してください。
インストール作業はこれで終了です。

プログラムファイル、または作成したショートカットをダブルクリックするとシステムが起動します。システムを起動するとサンプルが表示されます。必要に応じ印刷レイアウトおよびテーブルを作成し、オプション画面にて設定してください。

4 アプリケーション仕様

テーブルの行を特定するためのキーとなる列は任意のものをひとつ指定することができます。本仕様書内ではキー項目の名称を「商品コード」としてありますが、オプション画面にて任意の名称を設定することができます。

4-1 メイン画面

本システム起動後には次のメイン画面を表示します。ここでは製品コードによるレコードの呼び出しや各項目への入力、印刷プレビューの表示のほかメニューやボタンで各種機能を実行します。

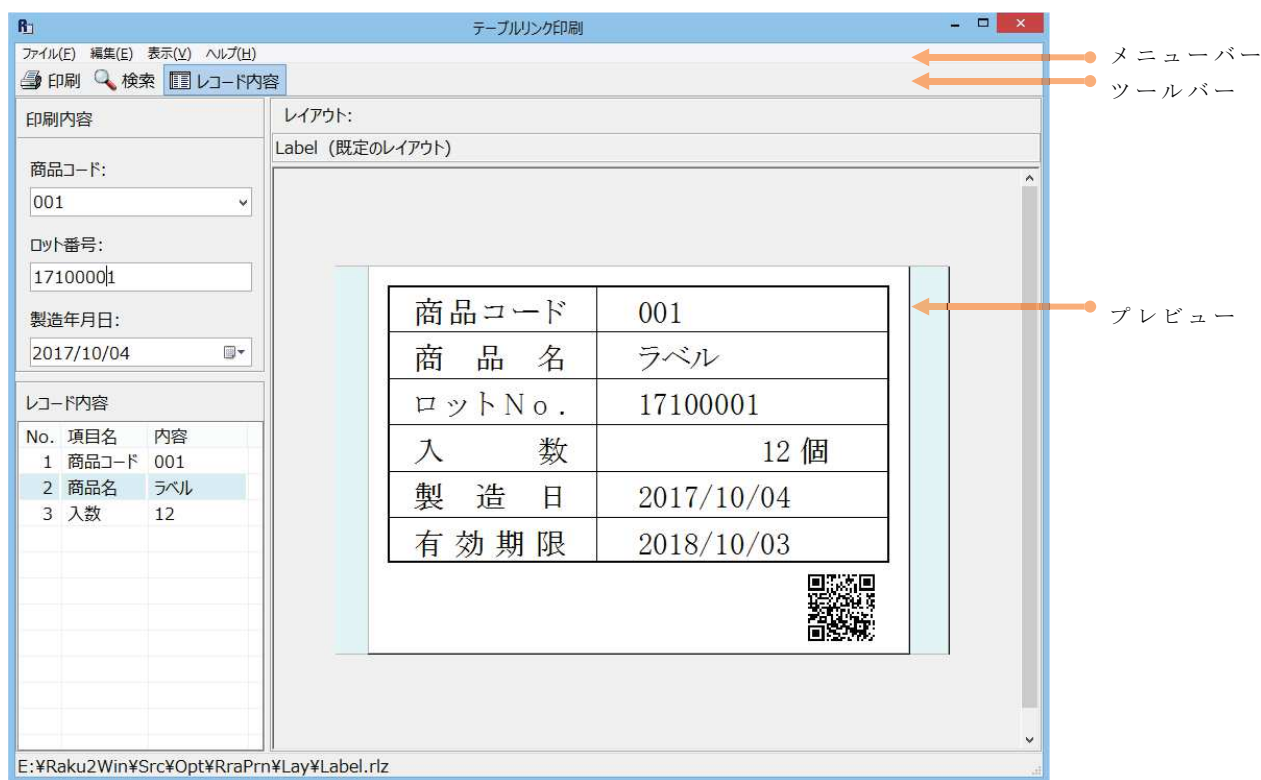


図 1 メイン画面

画面左の製品コード下の「ロット番号」、「数量」、「製造年月日」、「有効期限」はオプション画面にて非表示にすることができます。また、差し込み先のレイアウトにそのフィールドが存在しない場合は表示されません。

4-2 テーブルの行検索

キー項目（製品コード）の指定方法は次の3通りです。

- ・ 直接入力 すべての内容をキー入力します。
- ・ ドロップダウンリストからの選択 ... [▼] ボタンにより製品コードの一覧から選択します。
- ・ 検索画面での指定 ツールバーの [検索] ボタンにより検索画面にて指定します。

4-3 検索画面

検索画面ではキー項目を指定した文字列を含むもので絞り込んだ一覧から選択することができます。

No.	商品コード
1	001
2	002
3	003

図 2 検索画面

4-4 レコード内容表示

ツールバーの[レコード内容]ボタンをクリックすると、画面左下にレコードの列の内容が表示されます。また、ダブルクリックにより直接入力画面にてテーブルの内容を変更することもできます。(オプション画面にて「マスタの変更を許可する」にチェックが入っている場合に限りです。) テーブルの内容が書き換わりますのでマスタデータなどを表示する場合はご注意ください。

なお、参照先がクエリやリンクテーブルの場合には更新できない場合があります。

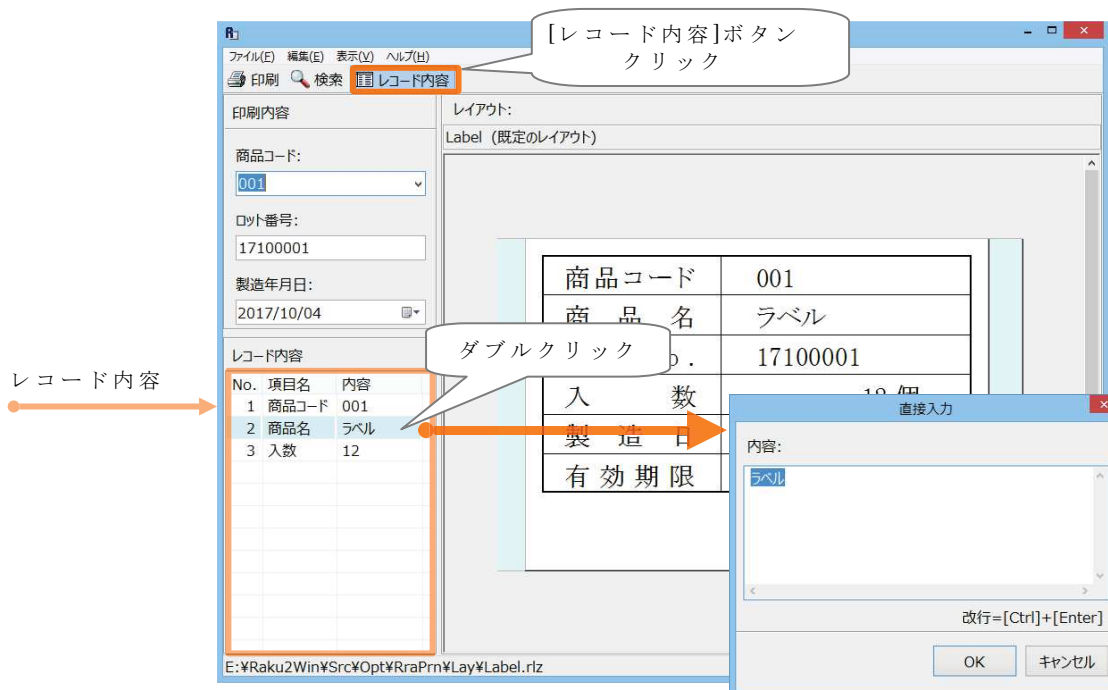


図 3 メイン画面－レコード内容

4-5 レイアウトフィールドへの直接入力

プレビュー画面にて指定したレイアウトのフィールドに直接内容を入力することができます。ただし、RakuRakuWinにて差し込み設定されているフィールドに限ります。

ここでの入力内容は製品コードの選択やアプリケーション終了により破棄されます。

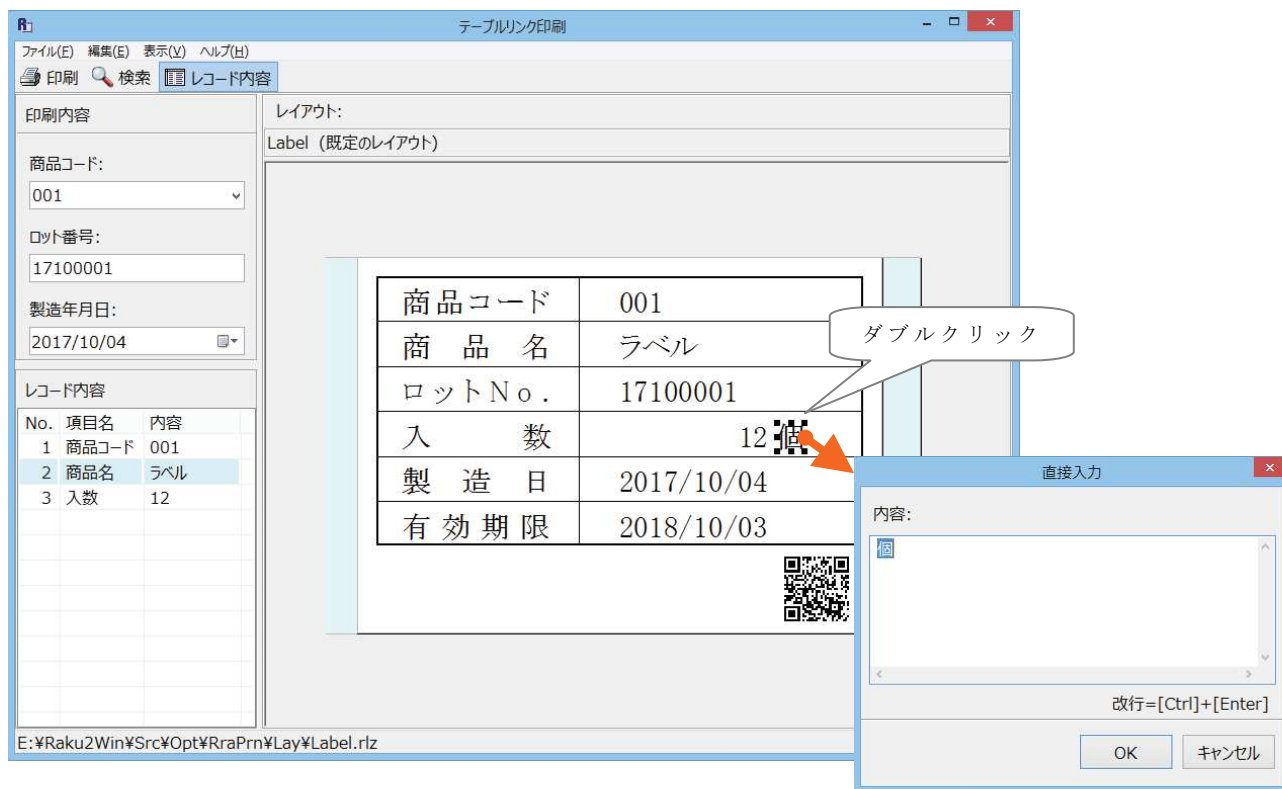


図 4 メイン画面－プレビューフィールド直接入力

4 - 6 印刷

表示中の内容で印刷するにはツールバーの [印刷] ボタンをクリックし、次の画面でプリンタと印刷枚数を指定後、[印刷] ボタンをクリックすると印刷が開始されます。



図 5 印刷画面

画面の「コピー数」または「シリアル枚数」はオプション画面にて非表示に設定することができます。

4-7 オプション画面

オプション画面を表示させるにはメイン画面のメニューバーより [ファイル] - [オプション] をクリックします。

4-7-1 基本タブ

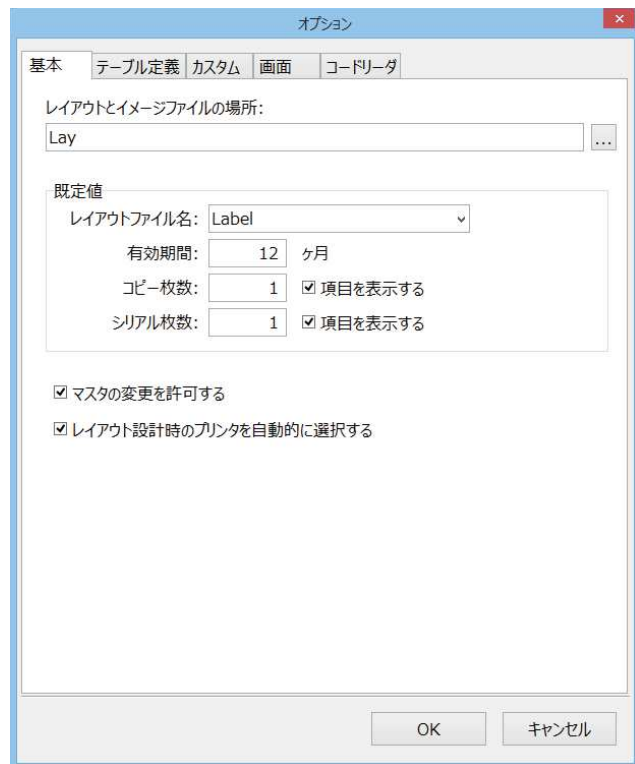


図 6 オプション画面－基本タブ

- ◆ レイアウトとイメージファイルの場所
 - イメージファイル（拡張子“bmp”や“jpg”）を使用する場合はレイアウトと同じフォルダに置いてください。

 - ◆ 既定値
 - レコードから取得しない場合に使用する値を指定します。指定可能な項目は次の通りです。
 - ・ファイルレイアウト
 - ・有効期間
 - ・コピー枚数
 - ・シリアル枚数
- } 印刷画面に項目を表示する
かどうかも設定可能です
- ◆ マスタの変更を許可する
 - 本システムでからテーブルの内容を変更するかどうかを指定します。

 - ◆ レイアウト設計のプリンタを自動的に選択する
 - 複数のレイアウトを使用する場合で、それぞれにプリンタが割り当てられている場合に便利な機能です。

4-7-2 マスタ定義タブ

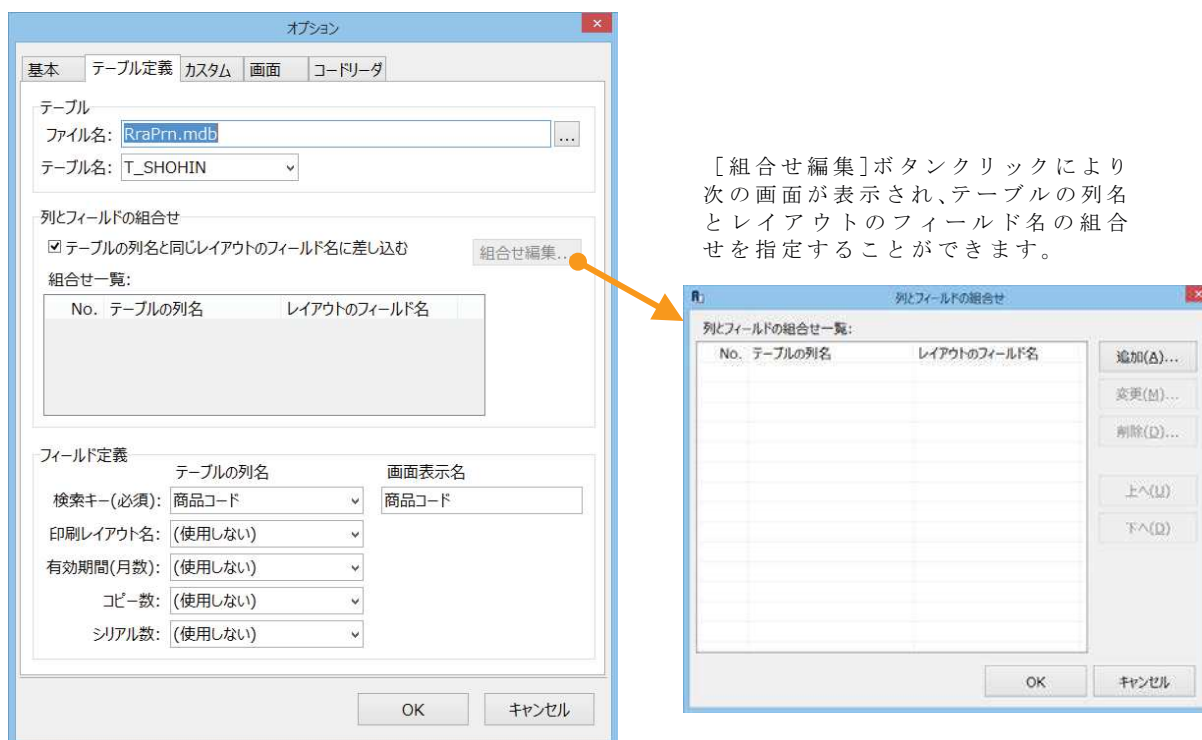


図 7 オプション画面－マスタ定義タブ

◆ マスタファイル名

マスタデータとして使用するアクセスのファイル名を指定します。ファイルの拡張子は“m d b”または“a c c d b”です。

◆ テーブル名

マスタファイル内より使用するテーブルまたはクエリを指定します。

◆ 列とフィールドの組合せ

テーブルの列に対するレイアウトの印字フィールドの組み合わせを指定します。

◆ フィールド定義

- ・ 検索キー（必須） テーブルのレコード（行）を特定するための列を指定します。フィールドの内容はすべての行で一意となっている必要があります。メイン画面や検索画面などの表示名を設定することができます。
- ・ 印刷レイアウト 行ごとに印刷レイアウトが設定されている場合はその列名を指定します。列の内容にはファイル名のみを指定してください。パス（ドライブやフォルダ）と拡張子は自動付加されます。
- ・ 有効期間 有効期間が行ごとに設定されている場合はその列名を指定します。
- ・ コピー数、シリアル数 それぞれの枚数がテーブルに設定している場合は指定します。

4-7-3 カスタムタブ

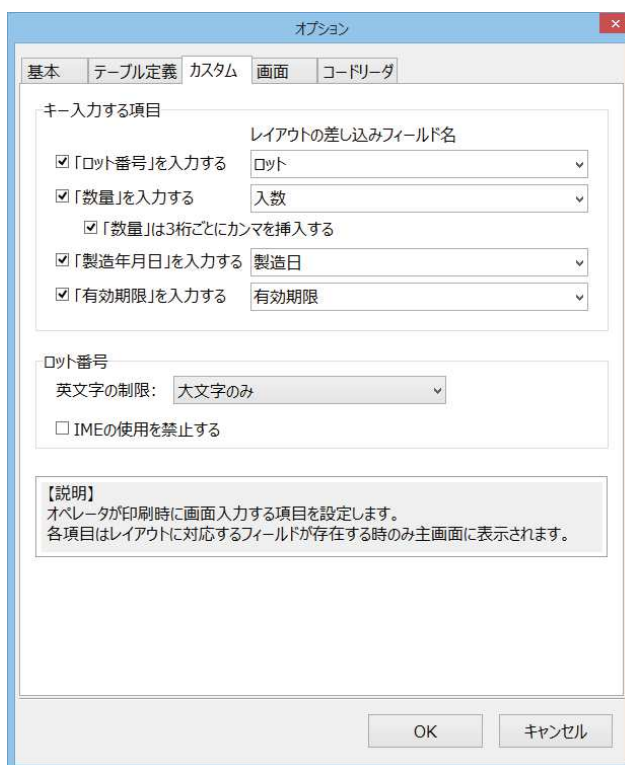


図 8 オプション画面－カスタムタブ

◆ キー入力する項目

次の項目については印刷時の入力有無と差し込み先レイアウトのフィールド名を指定することができます。

- ・ ロット番号
- ・ 数量
- ・ 製造年月日
- ・ 有効期限

画面にチェックを入れた場合、メイン画面には右図のように表示されます。但し、レイアウト内に差し込み先フィールドが存在しない場合、入力項目は表示されません。

「有効期限」には「製造年月日」と「有効期間」から自動計算された内容が初期表示されます。その日付を変更することもできます。

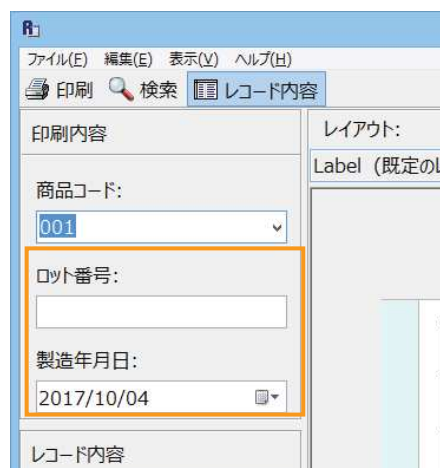


図 9 メイン画面－印刷時入力部分

◆ ロット番号

- ・ 英文字の制限 「なし」・「大文字のみ」・「大文字のみ」から選択します。
- ・ IMEの使用を禁止する ... チェックを入れると半角文字のみの入力となり全角文字は入力できません。

4-7-4 画面タブ

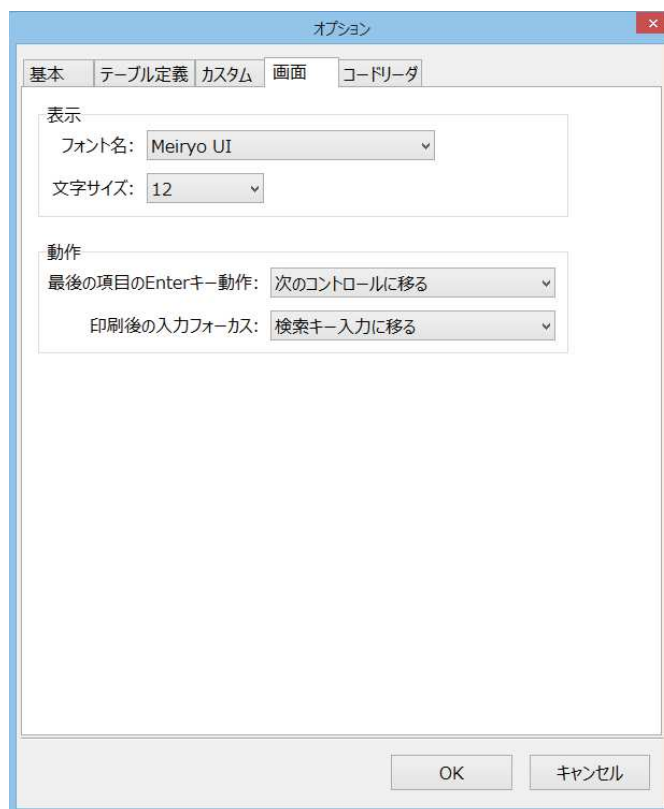


図 10 オプション画面－画面タブ

◆ 表示

画面の文字サイズを指定します。なお、オプション画面とバージョン画面の文字サイズは変更できません。

◆ 動作

- ・最後の項目の **Enter** キー動作..... 次の何れかが選択可能です。
 - 「次のコントロールに移る」
 - 「印刷ダイアログを表示する」
- ・印刷後の入力フォーカス 次の何れかが選択可能です。
 - 「元の場所にとどまる」
 - 「検索キー入力に移る」

4-7-5 コードリーダータブ

本項目では、バーコードや2次元コードなどをコードリーダーで読取り、検索キーとして利用する為の設定をします。例えば、部品番号のバーコードを読み取り、そのラベルを印刷することができます。

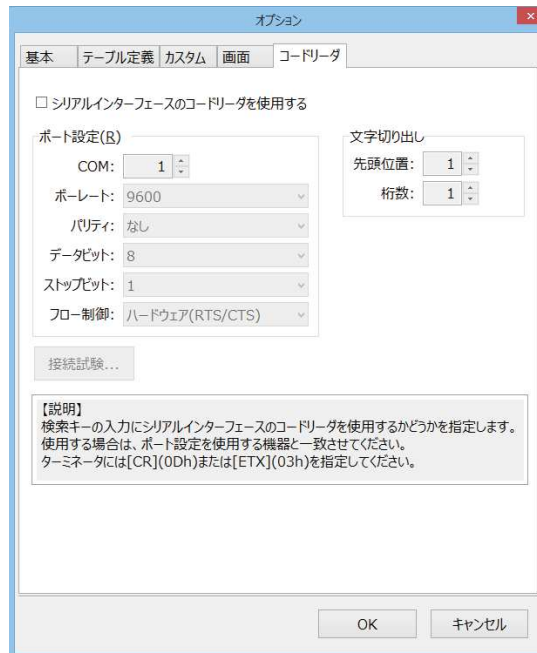
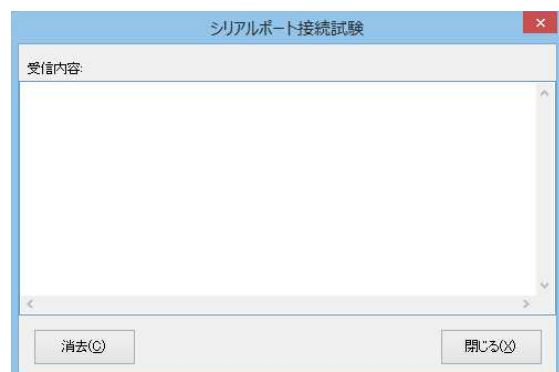


図 11 オプション画面－コードリーダータブ

- ◆ シリアルインターフェースのコードリーダーを使用する
 - チェックを入れるとコードリーダーに関する項目が入力可能になります。
- ◆ ポート設定
 - COM はコードリーダーを接続するポートを指定します。その他の項目はコードリーダーの設定と合わせてください。
- ◆ 文字切り出し
 - キー項目として使用できるのが、読み取った内容の一部である場合に、その位置を指定します。先頭位置に 0 を指定した場合、切り出しはしません。桁数に -1 以下の値を指定した場合は、文字列末尾からの位置を意味します。
- ◆ 接続試験
 - [接続試験] ボタンをクリックすると右の画面が表示されます。コードリーダーからの送信内容が正常に表示されることを確認します。文字が正常に表示されない場合はポート設定の内容をご確認ください。



5 ファイル仕様

本システムを構成するファイルについて説明します。

5-1 ファイル一覧

指定の無いものは、すべて実行ファイルと同じフォルダに置きます。

表 2 ファイル一覧

No.	ファイル名	説明
1	RraPrn.exe	プログラムファイル
2	RraPrn.ini	設定ファイル
3	RraPrn.def	マスタ定義ファイル
4	*.rlz	レイアウトファイル 場所とファイル名は設定可能です。
5	*.bmp、*.jpg	イメージファイル イメージフィールドに差し込む場合はレイアウトと同じフォルダに置いてください。
6	*.mdb、*.accdb	アクセスデータベースファイル 1種類をオプションにて指定します。

以上